

(43)Date of publication of application : 09.01.1996

B65D 85/57
// B65D 85/00

(72)Inventor : TAKIGUCHI YOSHIO
TANAKA HIROHISA

2/27/2004

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-2572

(43)公開日 平成8年(1996)1月9日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 5 D 85/57

C

// B 6 5 D 85/00

H 0330-3E

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 7 頁)

(21)出願番号

特願平6-140184

(22)出願日

平成6年(1994)6月22日

(71)出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社

神奈川県南足柄市中沼210番地

(72)発明者 滝口 美穂

東京都港区西麻布2-26-30 富士写真フイルム株式会社内

(72)発明者 田中 博久

東京都豊島区目白2-16-22 有限会社シエルデザイン内

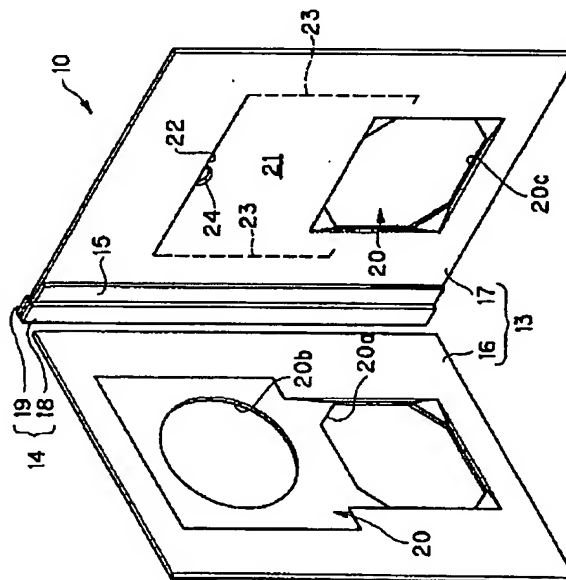
(74)代理人 弁理士 小林 和憲

(54)【発明の名称】 フレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース

(57)【要約】

【目的】 保護力に優れ、かつ店頭での紛失や盗難を防止するフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケースを提供する。

【構成】 収納ケース10は、本体部13と、可撓性を有する連結片15によって屈曲自在に連設された緩じ代部14とからなり、雑誌内に一体に製本される。本体部13は、2枚の段ボール16、17を表裏一体に貼り合わせて構成され、段ボール16、17の接合面をそれぞれ外面側に圧縮してF D及びC Dの収納室20が形成されている。本体部13の裏面側の段ボール17にはF D及びC Dの出し入れを行うための蓋部21が設けられている。蓋部21の周縁の一部にはミシン目23が刻まれており、このミシン目23を破断して収納室20を開放する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1枚のフレキシブルディスク又はコンパクトディスクを収納する本体部に、この本体部と同厚の綴じ代を屈曲自在に連設し、刊行物と一体に製本することを特徴とするフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項2】 前記本体部は、2枚の段ボールを貼り合わせてなるとともに、少なくとも一方の段ボールの接合面側を圧縮してフレキシブルディスク又はコンパクトディスクの収納室を形成することを特徴とする請求項1記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項3】 前記本体部は、緩衝性を有する厚板の表裏に厚紙を貼り合わせてなるとともに、前記厚板の一部をくりぬいてフレキシブルディスク又はコンパクトディスクの収納室を形成することを特徴とする請求項1記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項4】 前記収納室の表面又は裏面のいずれか一方に、フレキシブルディスク及びコンパクトディスクの取出し及び収納を行うための蓋部を形成したことを特徴とする請求項2又は請求項3記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項5】 前記蓋部の周縁の一部にはミシン目が形成され、開封時に前記ミシン目を破断することを特徴とする請求項4記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項6】 前記蓋部の内面側にフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの保持部を形成し、蓋部の開閉にともなってフレキシブルディスク及びコンパクトディスクを収納室から出し入れさせることを特徴とする請求項4又は請求項5記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【請求項7】 前記保持部は、前記蓋部を収納室の全面を囲む大きさに形成し、この蓋部の一部を収納室内に鉤状に折り曲げて形成することを特徴とする請求項6記載のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、雑誌に添付されるフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケースに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 パーソナルコンピュータ（以下パソコンという）の普及に伴い、色々なパソコン雑誌が刊行、販売されている。最近では、このパソコン雑誌に、ゲームソフト等を記録したフレキシブルディスク（FD）やコンパクトディスク（CD）が付録として添付されることが多くなってきている。これらのFDやCDは、一般的

には、封筒やポリ袋に入れられて製本済の雑誌に挟み込まれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、FDやCDを入れた封筒やポリ袋を単に雑誌に挟み込むだけでは、この封筒やポリ袋が雑誌から抜け落ちて紛失しやすいばかりか、店頭での盗難発生の恐れすらある。また、封筒やポリ袋は耐衝撃性に欠け、FDやCDの保護には役立たない。このため、雑誌の購入者は、付録のFDやCDを保管するために専用の保管ケースを別に用意しなくてはならなかった。

【0004】 本発明は、上記の事情を考慮してなされたもので、保護力に優れ、かつ店頭での紛失や盗難を防止することのできるフレキシブルディスク及びコンパクトディスクの収納ケースを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明の収納ケースは、少なくとも1枚のフレキシブルディスク又はコンパクトディスクを収納する本体部に、この本体部と同厚の綴じ代を屈曲自在に連設し、刊行物と一体に製本するようにしたものである。また、本体部は2枚の段ボールを貼り合わせた構成とし、これら2枚の段ボールのうち少なくとも一方の段ボールの接合面側を圧縮してフレキシブルディスク又はコンパクトディスクの収納室を形成する。さらに、緩衝性を有する厚板の表裏に厚紙を貼り合わせて本体部を構成し、厚板の一部をくりぬいて収納室を形成するようにしてもよい。

【0006】 また請求項4及び請求項5に記載の収納ケースは、収納室の表面又は裏面のいずれか一方に、フレキシブルディスク及びコンパクトディスクの取出し、収納を行うための開閉自在な蓋部を形成するものである。また蓋部の周縁の一部にはミシン目を刻んでおき、開封時にこのミシン目を破断するようにするのがよい。

【0007】 また請求項6及び請求項7に記載の収納ケースは、蓋部の内面側にフレキシブルディスク又はコンパクトディスクの保持部を形成し、蓋部の開閉にともなってフレキシブルディスク及びコンパクトディスクを収納室から出し入れさせるものである。また保持部は、蓋部を収納室の全面を囲む大きさに形成し、この蓋部の一部を収納室内に鉤状に折り曲げて形成するのがよい。

【0008】

【実施例】 図1及び図2は、本発明の収納ケースを示すものである。収納ケース10は、フレキシブルディスク（以下FDとする）11及びコンパクトディスク（以下CDとする）12を収納する本体部13と綴じ代部14とからなり、本体部13と綴じ代部14とは可撓性を有する連結片15によって屈曲自在に連設されている。本体部13及び綴じ代部14は、それぞれ2枚の段ボール16、17及び18、19を表裏一体に貼り合わせて形成され、連結片15は本体部13と綴じ代部14とを分

離して段ボール16、17及び18、19の間に挟み込まれる。

【0009】本体部13の内部には、FD11及びCD12の収納室20が設けられている。収納室20は、図3に示すように、段ボール16、17の接合面側のボール紙16a、17aに収納室20の周縁部に沿った切り込みを入れるとともに、収納室20になる部分の波形紙16b、17bを外面側に圧縮して形成されている。また、薄厚のCD12を収納する部分は、前面側の段ボール16のみを圧縮して収納室20が形成される。この収納室20の表面側及び裏面側には、それぞれ段ボール16、17の外面側のボール紙16c、17cを切り欠いて、FD11及びCD12の一部を外部に露呈するための窓20a、20b、20cが開設されている。

【0010】本体部13の裏面側の段ボール17には、FD11及びCD12の取り出し及び収納を行うための蓋部21が設けられている。蓋部21は、収納室20のFD11及びCD12のそれぞれの収納部にまたがるように配置されている。蓋部21の上辺部には切り込み22が入れられ、両側縁部にはミシン目23が刻まれている。また、切り込み22と接する位置には、段ボール17を切り欠いて開封口24が形成されている。

【0011】本体部13の2枚の段ボール16、17は、収納室20部にFD11及びCD12を挟持した後、収納室20及び蓋部21を残した部分を互いに糊付けして表裏一体に貼り合わされる。そして図4に示すように、FD11及びCD12を収納した収納ケース10は、雑誌27の一部として他の刊行物28と一体に製本される。この際、本体部13及び綴じ代部14が段ボール16～19により構成され、裁断を行うことができるので、収納ケース10は、その大きさを他の刊行物28と揃えることができる。また本体部13と綴じ代部14とは同じ厚さであるので、雑誌27は全体に均一な厚さに仕上がり、製本後の取り扱いが容易となる。さらに、本体部13と綴じ代部14とを繋ぐ連結片15が可撓性を有するので、図5に示すように、連結片15が他の刊行物28とともに屈曲し、収納ケース10が雑誌27のページ捲りを妨げることもない。さらに、蓋部21の周縁の一部にミシン目23を形成したので、このミシン目23を破断しない限り蓋部21が開放されることはなく、収納室20内のFD11及びCD12が抜け落ちることはない。

【0012】雑誌27の購入者は、収納ケース10を開封する時には、開封口24に指を掛け、ミシン目23に沿って蓋部21を下方に引き裂く。これによって収納室20が開放され、購入者はFD11及びCD12を取り出すことができる。また、本体部13を構成している段ボール16、17は緩衝性を有するので、取り出したFD11及びCD12を再び収納室20内に格納して蓋部21を閉じれば、内部に収納されるFD11及びCD1

2を衝撃から保護し、雑誌27に綴じ込んだままの状態 で保管することができる。

【0013】なお上記実施例では、蓋部を本体部の裏面側に形成した例について説明したが、勿論、蓋部の形成面は表面側であってもよい。また、FD及びCDの収納枚数も、必ずしも2枚である必要はなく、図6に示す収納ケース30のように、本体部31の中央部に1枚分の大きさの収納室32を形成し、1枚だけを収納するようにしてもよい。

【0014】また、蓋部の開閉方向も縦方向に限定されるものではなく、図7に示す収納ケース35のように、上下に並べて設けられた2つの収納室36、37の側部側に縦長の蓋部38を設け、この蓋部38を横方向に開閉するようにしてもよい。さらに、図8及び図9に示した収納ケース40のように、前面側の段ボール41の縁部に掛かるように蓋部42を形成し、裏面側の段ボール43に形成され蓋部42に接着された開封片44を破断して蓋部42を開くようにしてもよい。この際、蓋部42及び開封片44の周縁部にミシン目45を刻んでおき、購入者の手元に届くまで開封されないようにしておくのがよい。

【0015】次に、図10及び図11を参照して、本発明の収納ケースの第2実施例について説明する。なお、図1に表した収納ケースと共通な部材については、同じ符号を付してある。収納ケース50は、本体部51と、可撓性を有する連結片15によって屈曲自在に本体部51と連設された綴じ代部14とから構成されている。本体部51は2枚の段ボール52、53を貼り合わせて構成され、段ボール52、53の接合面をそれぞれ外面側に圧縮して2つの収納室54、55が上下に並べて形成されている。表面側の段ボール52には、2つの収納室54、55を囲む大きさの蓋部56が形成され、この蓋部56の上下縁部にはミシン目57が刻まれている。また、蓋部56の綴じ代部14とは反対側の側縁部には切り込み22が入れられているとともに、段ボール52を切り欠いて開封口23が設けられている。また裏面側の段ボール53には、蓋部56の綴じ代部14側の半面と対面する位置に保持部58が形成され、この保持部58の周縁部には切り込み59が入れられている。

【0016】2枚の段ボール52及び53は、蓋部56を除いた部分が互いに接合されるとともに、保持部58が収納室54、55部を避けて蓋部56に接合される。そして図11に示すように、ミシン目57を破断して蓋部56を開放すると、この蓋部56とともにFD11及びCD12が蓋部56の内面部に保持された状態で引き出される。これによって、FD11及びCD12は容易に取出し及び収納が行われる。

【0017】次に、図12から図14を参照して、本発明の収納ケースの第3実施例について説明する。収納ケース60は、本体部61と綴じ代部62とから構成され

ている。本体部 6 1 及び綴じ代部 6 2 は、緩衝性を有する厚板 6 3、6 4 の表裏を厚紙 6 5、6 6、6 7 で挟持して構成され、本体部 6 1 と綴じ代部 6 2 とは表面側の厚紙 6 5 を共通に用いることで連設されている。また厚紙 6 5 の裏面側には、本体部 6 1 と綴じ代部 6 2 とが屈曲自在となるように、本体部 6 1 と綴じ代部 6 2 との境界部に浅く切り込み 6 5 a が入れられている。厚板 6 3 の中央部には、その一部をくり抜いて収納室 7 0 が形成されている。表面側の厚紙 6 5 には、この収納室 7 0 を囲む大きさの蓋部 7 1 が形成され、その上縁部にはミシン目 7 2 が刻まれている。

【0018】蓋部 7 1 は、図 1 3 に示すように、収納室 7 0 と対峙する面が収納室 7 0 内に鉤状に折り曲げられ、左右一對の保持部 7 1 a、7 1 b を形成している。FD 1 1 は、保持部 7 1 a、7 1 b によって左右から保持された状態で収納室 7 0 内に収納される。そして図 1 4 に示すように、ミシン目 7 2 を破断して蓋部 7 1 を開放すると、FD 1 1 が蓋部 7 1 とともに収納室 7 0 から引き出される。

【0019】次に、図 1 5 から図 1 7 を参照し、本発明の収納ケースの第 4 実施例について説明する。収納ケース 8 0 は、本体部 8 1 と綴じ代部 8 2 とから構成されている。本体部 8 1 及び綴じ代部 8 2 は、緩衝性を有する厚板 8 3、8 4 の表裏を厚紙 8 5、8 6、8 7 で挟持して構成され、本体部 8 1 と綴じ代部 8 2 とは表面側の厚紙 8 5 を共通に用いることで連設されている。厚板 8 3 には、FD 1 1 の収納室 9 0 が設けられている。この収納室 9 0 は、その一端が厚板 8 3 の側縁部に開放するように切り欠かれ、FD 1 1 の取出し口 9 1 を形成している。表面側の厚紙 8 5 には、収納室 9 0 の前面部に窓 9 0 a が開設されているとともに、帯状の押さえ片 9 2 が設けられている。この押さえ片 9 2 は、図 1 6 に示すように、取出し口 9 1 内に折り込まれて FD 1 1 を収納室 9 0 内に押さえつけている。また裏面側の厚紙 8 6 には、取出し口 9 1 を覆う位置に蓋部 9 3 が形成され、この蓋部 9 3 の両側縁部には上下一對のミシン目 9 4 が刻まれている。そして収納ケース 8 0 を開封する時には、図 1 7 に示すように、ミシン目 9 4 に沿って厚紙 8 6 を破断することで蓋部 9 3 を開放し、取出し口 9 1 内に折り込まれている押さえ片 9 2 を引き出すと、収納室 9 0 が開放されて FD 1 1 を取り出すことができるようになる。

【0020】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、フレキシブルディスク又はコンパクトディスクを収納する本体部に綴じ代部を連設し、収納ケースごと刊行物と一体に製本するようにしたので、収納ケースが雑誌から抜け落ちて紛失することがなくなる。また蓋部の周縁の一部にはミシン目が形成されるので、このミシン目を破断しない限り蓋部が開放されることはなく、収納室内のフレキシ

ブルディスク及びコンパクトディスクが抜け落ちることもない。さらに綴じ代部を屈曲自在に設けるので、この収納ケースが雑誌のページ捲りを妨げることがない。

【0021】また、本体部を段ボール又は緩衝性を有する厚板を用いて構成するので、内部に収納されるフレキシブルディスク及びコンパクトディスクを衝撃から保護することができる。したがって、使用後のフレキシブルディスク及びコンパクトディスクは、この収納ケースに再び収納すればこのまま保管することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の収納ケースの第 1 構成例を示す概略図である。

【図 2】図 1 に表した収納ケースの外観図であり、(a) は表面側から、(b) は裏面側から表したものである。

【図 3】収納室の形成方法を示す要部断面図である。

【図 4】収納ケースの雑誌への綴じ込み状態を示す説明図である。

【図 5】蓋部の開放状態を示す説明図である。

【図 6】収納室と蓋部との別の配置例を示す説明図である。

【図 7】収納室と蓋部とのさらに別の配置例を示す説明図である。

【図 8】図 1 に表した蓋部の第 2 構成例を示す説明図である。

【図 9】図 8 に表した蓋部の開放状態を示す説明図である。

【図 10】本発明の収納ケースの第 2 構成例を示す概略図である。

【図 11】図 10 に表した蓋部の開放状態を示す説明図である。

【図 12】本発明の収納ケースの第 3 構成例を示す概略図である。

【図 13】図 1 2 に表した保持部の形状を示す要部断面図である。

【図 14】図 1 2 に表した蓋部の開放状態を示す説明図である。

【図 15】本発明の収納ケースの第 4 構成例を示す概略図である。

【図 16】図 1 5 に表した押さえ片の取出し口内への折り込み状態を示す要部断面図である。

【図 17】図 1 5 に表した収納室の開放状態を示す説明図である。

【符号の説明】

10、30、35、40、50、60、80 収納ケース

13、51、61、81 本体部

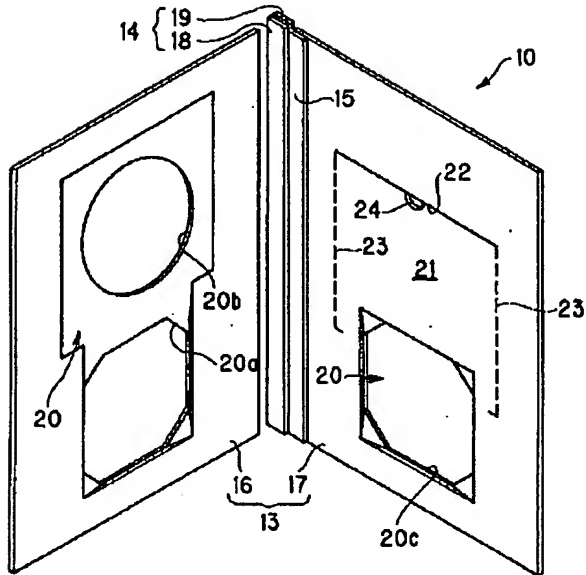
14、62、82 綴じ代部

15 連結片

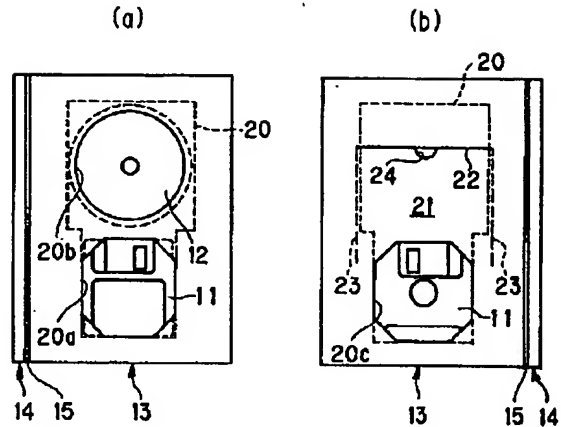
16～19、41、43、52、53 段ボール

- 7
20, 32, 36, 37, 54, 55, 70, 90 収
納室
21, 38, 42, 56, 71, 93 蓋部
23, 45, 57, 72, 94 ミシン目
44 開封片
- 8
* 58, 71a, 71b 保持部
63, 64, 83, 84 厚板
65~67, 85~87 厚紙
91 取出し口
* 92 押さえ片

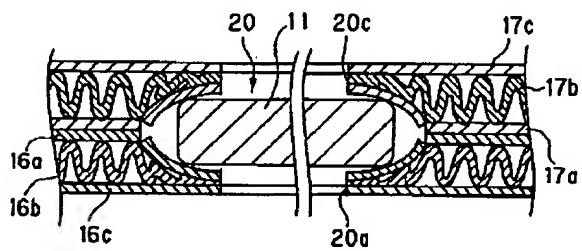
【図1】



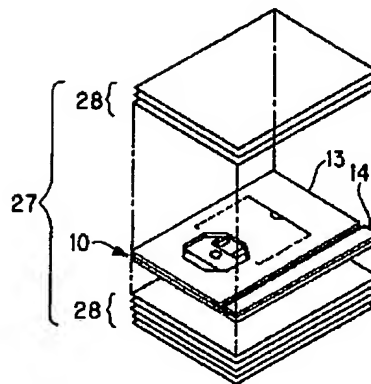
【図2】



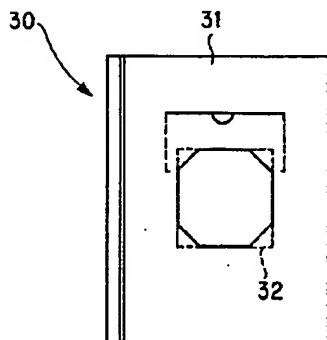
【図3】



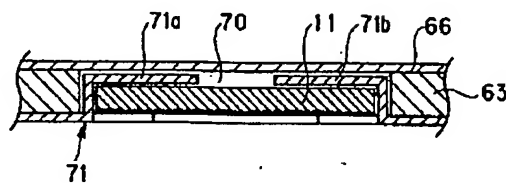
【図4】



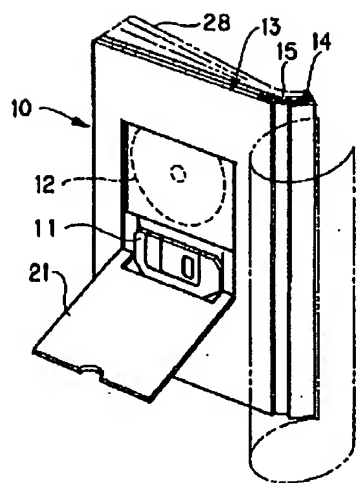
【図6】



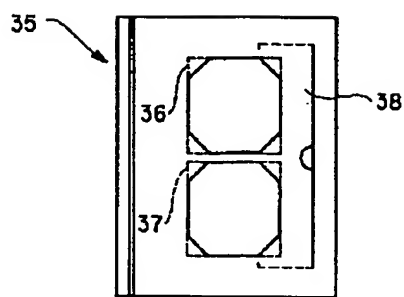
【図13】



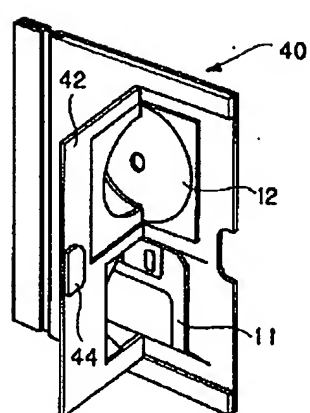
【図5】



【図7】

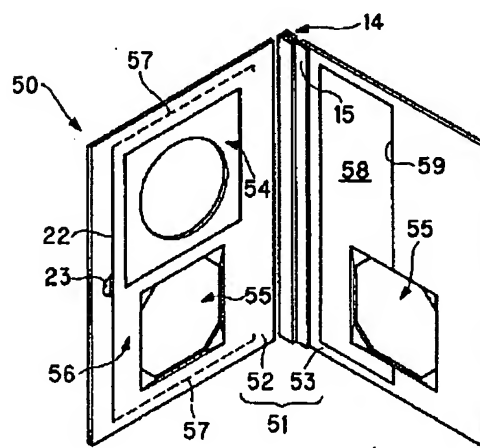
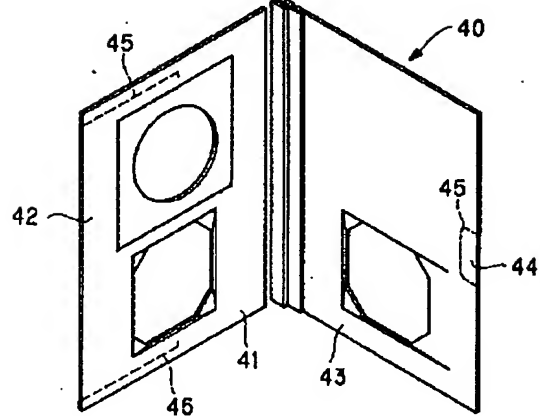


【図9】



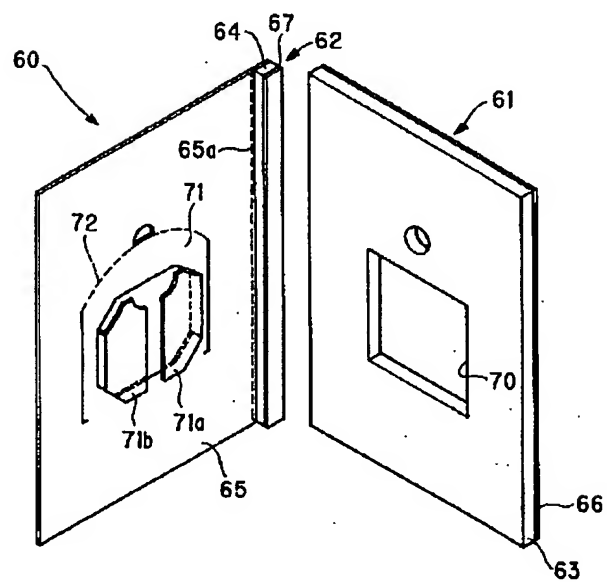
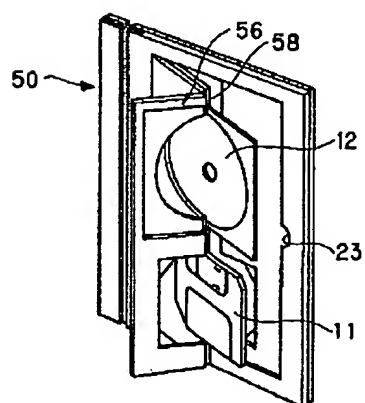
【図10】

【図8】

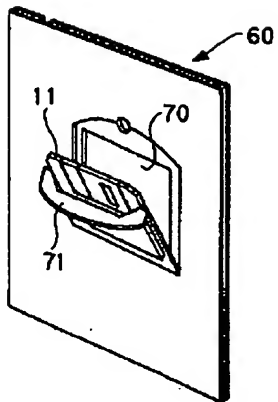


【図12】

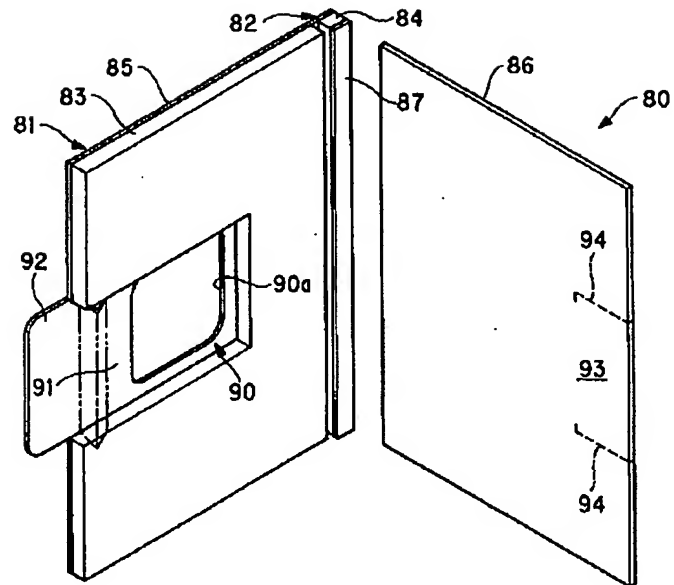
【図11】



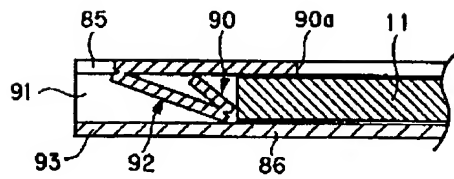
【図14】



【図15】



【図16】



【図17】

